

戦 評

大会名 平成29年度 第14回 東北クラブバレーボール選手権大会
(みちのくカップ)岩手県予選会

期日:平成29年9月10日
会場:北上総合体育館

9人制男子 決勝

黒 修 会 2 $\left\{ \begin{array}{l} 21 - 10 \\ 16 - 21 \\ 21 - 18 \end{array} \right\}$ 1 大迫クラブ

試合時間 1 時間 09 分

主 審 多 田 直 樹

副 審 千 田 哲 也

戦 評

過去7回と最多の優勝経験のある黒修会に対し、今年度この大会に焦点を絞り悲願の初優勝を勝ち取りたい大迫クラブとの対戦。

1セット目、黒修会のファーストサーブが効果を奏し、大迫クラブは守りのリズムを崩す。

勢いに乗った黒修会は12番田鎖の3連続得点などでリードを広げ勢いを保ち先取する。

2セット目、中盤までお互い一進一退の攻防が続くが、大迫クラブは9番佐藤のサーブで流れを掴むと、7番松坂のレフト攻撃が決まり、試合を振り出しに戻す。

第3セット目、序盤は黒修会がリードするが、大迫クラブも7番高橋のフェイントを皮切りに盛返し16-14と逆転。だが、負けられない黒修会も意地を見せ11番菊池の速攻を起点として再逆転。

そのまま得点を加え、必死に粘る大迫クラブを退け2年ぶり8回目の優勝を決めた。

戦評者 佐藤 久仁子

岩手県クラブバレーボール連盟

戦 評

大会名 平成29年度 第14回 東北クラブバレーボール選手権大会
(みちのくカップ)岩手県予選会

期日:平成29年9月10日
会場:北上総合体育館

9人制女子 決勝

北上ホップス 2 { 21 — 14
11 — 21
21 — 9 } 1 いわいクラブ

試合時間 1 時間 07 分

主 審 多 田 直 樹

副 審 及 川 辰 生

戦 評

県内9人制女子のトップの座に君臨する北上ホップスと、若手と融合し着実に強化を図ってきたいわいクラブの対戦となった決勝戦。

第1セット、北上ホップスは12番柳原のスパイクで流れを掴むと、13番鈴木のスラブで相手の守りを崩し連続得点をする。対するいわいクラブは、8番レフト南館にボールを集め反撃するものの最後は北上ホップス柳原のクイックが決まり先取する。

第2セット、攻撃リズムがかみ合ってきたいわいクラブが序盤から先行。北上ホップスに流れを渡すことなくセットを奪い返す。

第3セット、疲れが見え始めたいわいクラブに対し、北上ホップスは9人制バレー独特の速いテンポの攻撃を仕掛け相手を翻弄、強弱をつけたセンターからの攻撃や5番菊池の効果的なスラブで一気に得点を重ねいわいクラブを圧倒、3年連続6回目の優勝を飾った。

戦評者 鈴木 琴 美

岩手県クラブバレーボール連盟